

問1 インダス文明の代表的な遺跡であるモヘンジョ・ダロの構造から読み取れる、この文明の社会的な特徴として、最も適切な説明はどれか。 (2016年 愛知公立入試 類似)

1. 基盤の目状の道路やレンガ造りの排水溝、公衆浴場などが整備された、計画的な都市運営が行われていた
2. 王の権力を象徴する巨大な墓としてピラミッドが建設され、死後の世界を重視する宗教観を持っていた
3. 都市の中心にジグuratと呼ばれる聖塔を築き、神官が政治を行う神権政治を徹底していた
4. 周囲を高い城壁で囲んだ都市国家を形成し、外敵の侵入を防ぐことを最優先した軍事的な社会であった

問2 18世紀後半のフランスにおいて、第一身分の聖職者や第二身分の貴族といった特権階級に対し、第三身分の人々が強く反発し、フランス革命へとつながった背景として正しいものはどれですか。 (2026年 京都府公立入試 類似)

1. 特権階級が免税特権を維持したまま、国家の財政難を解決するために平民への増税を求めたこと
2. 聖職者が平民に対してのみ、教会の役職に就くことを義務付け、労働を強いたこと
3. 国王が特権階級の領地をすべて没収し、平民に平等に分配しようとしたこと
4. 貴族が産業革命を推進し、平民の伝統的な職を機械によって奪ったこと

問3 紀元前5世紀頃の古代ギリシャの都市国家アテネにおける社会や政治の様子について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2025年 青森県公立入試 類似)

1. 成年の男性市民による直接民主政が行われていたが、労働などは多くの奴隷が担っていた。
2. 国王が神の化身として崇拜され、巨大な建造物や太陽暦が作られた。
3. 教皇や君主の権威が強く、キリスト教カトリック教会が社会の中心であった。
4. 18歳以上のすべての男女が選挙権を持ち、議会に代表者を送って政治を行っていた。

問4 秦の始皇帝が、中国の北部に「万里の長城」を築き、大規模な防壁を整備した歴史的な背景や目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 京都公立入試 類似)

1. 北方の遊牧民の侵入を防ぎ、国内の安定を図るため
2. 東南アジア諸国との交易を独占し、経済を活性化させるため
3. 仏教を国教として保護し、巡礼者のための道を整備するため
4. 国内の農民が勝手に国外へ逃亡するのを物理的に遮断するため

問5 7世紀に成立したイスラム教の教えや特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 千葉公立入試 類似)

1. 唯一の神アッラーの前ではすべての信者が平等であると説き、日常生活の細かな規律を定めている。
2. パレスチナでイエスが説き始め、すべての人間を愛する「隣人愛」と神による救済を強調している。
3. シャカ(釈迦)がインドで修行の末に悟りを開き、生老病死などの苦しみから逃れる道を説いている。
4. 孔子が戦乱の世を収めるために、家族の道徳である「仁」や社会の決まりである「礼」を説いている。

問6 黄河や長江の流域で発展した古代の中国文明に関する説明として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 山形公立入試 類似)

1. 亀の甲羅や動物の骨に文字を刻む甲骨文字が使われ、現在の漢字の原型となった。
2. 粘土板に楔形文字を刻み、天文学や六十進法などの高度な技術が発達した。
3. パピルスという紙に神聖文字(ヒエログリフ)が書かれ、太陽暦が用いられた。
4. 印章などに刻まれたインダス文字が使用され、レンガ造りの計画的な都市が築かれた。

問7 古代文明の発生地について述べた文として、アフリカ北東部のナイル川流域で栄え、象形文字を使用し、ピラミッドなどの巨大建築物を残した文明の名称を答えなさい。 (2019年 沖縄公立入試 類似)

1. エジプト文明
2. メソポタミア文明
3. インダス文明
4. 中国文明

問8 7世紀頃の世界情勢において、大国であるビザンツ帝国とササン朝が長年対立した結果、従来の交易路が避けられるようになりました。これに代わる新しい中継貿易のルートとして繁栄し、ムハンマドが活動を始めたアラビア半島の都市はどこですか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)

1. エルサレム
2. ローマ
3. メッカ
4. バグダード

問9 紀元前5世紀頃の古代ギリシャの都市国家アテネにおいて確立された、市民が国政の重要事項を直接話し合って決定する政治体制を何と呼びますか。また、その意思決定を行う場の名称として正しい組み合わせを選びなさい。 (2024年 山梨公立入試 類似)

1. 直接民主政を行い、民会で決定した
2. 間接民主政を行い、議会で決定した
3. 独裁政治を行い、広場で決定した
4. 貴族政を行い、元老院で決定した

答え合わせ・解説

問1	答え 1 基盤の目状の道路やレンガ造りの排水溝、公衆浴場などが整備された、計画的な都市運営が行われていた	インダス文明の都市遺跡には、当時の他の文明と比較しても際立って優れた都市計画の跡が見られます。住居跡からはレンガで作られた井戸や排水設備、さらには大規模な浴場などが発見されており、高度な土木技術と公衆衛生に対する意識の高さがうかがえます。このようなインフラの整備は、社会全体が統制された計画的な生活を送っていたことを示唆しています。
問2	答え 1 特権階級が免税特権を維持したまま、国家の財政難を解決するために平民への増税を求めたこと	当時のフランスは、相次ぐ戦争や宮廷の浪費により深刻な財政難に陥っていました。国王はこれを解決するために、第一身分（聖職者）や第二身分（貴族）にも課税しようと試みましたが抵抗に遭いました。結局、負担が第三身分（平民）に押し付けられる形となり、身分制議会である三部会での対立をきっかけに、平民たちの不満が爆発して革命へと発展しました。
問3	答え 1 成年の男性市民による直接民主政が行われていたが、労働などは多くの奴隷が担っていた。	アテネでは、ポリス（都市国家）の市民権を持つ成年の男性全員が直接話し合いに参加する政治が行われていた。市民は戦争や政治に参加する義務と権利を持っていたが、その生活や経済活動は多くの奴隷による労働力によって支えられていた。他の選択肢の太陽暦は古代エジプト、カトリック教会の影響は中世ヨーロッパ、男女平等の選挙権は現代の民主政治の特徴である。
問4	答え 1 北方の遊牧民の侵入を防ぎ、国内の安定を図るため	当時の中国にとって、北方から機動力を活かして攻め込んでくる遊牧民（匈奴）の存在は大きな脅威でした。始皇帝は中国全土を統一した後、国家の安全保障のために大規模な土木工事を行い、これら遊牧民の侵入を阻止するための防壁を築きました。これが万里の長城の起源であり、その後の王朝でも修復や改修が繰り返されました。
問5	答え 1 唯一の神アッラーの前ではすべての信者が平等であると説き、日常生活の細かな規律を定めている。	イスラム教はムハンマドによって創始され、神の前での平等を説きました。また、信仰の告白、礼拝、喜捨、断食、巡礼という「五行」に代表されるように、生活と宗教が密接に結びついているのが特徴です。他の選択肢は、順にキリスト教、仏教、儒教の説明です。
問6	答え 1 亀の甲羅や動物の骨に文字を刻む甲骨文字が使われ、現在の漢字の原型となった。	中国文明では、紀元前16世紀頃の殷（商）の時代に、占いの結果などを記録するために「甲骨文字」が使用されました。これがのちに私たちが使用している漢字のルーツとなりました。他の選択肢はそれぞれ、メソポタミア文明、エジプト文明、インダス文明の特徴を説明したものです。
問7	答え 1 エジプト文明	ナイル川の定期的な増水によってもたらされる肥沃な土地を基盤に発展した文明です。天文学が発達して太陽暦が作られたほか、バビルスに記される象形文字（ヒエログリフ）などの文化が生まれました。
問8	答え 3 メッカ	当時のビザンツ帝国とササン朝の戦争を避けるため、商人はアラビア半島を経由するルートを多用するようになりました。その中継地点として繁栄したメッカは、イスラム教の創始者ムハンマドの出身地であり、現在もイスラム教の最も重要な聖地とされています。
問9	答え 1 直接民主政を行い、民会で決定した	古代アテネでは、市民が代表者を通さず自ら政治に参加する「直接民主政」が発達しました。この意思決定の中心となったのは、全市民が参加資格を持つ「民会」と呼ばれる機関です。現代の多くの国で採用されている代表制（間接民主政）とは異なり、自分たちで直接投票を行う仕組みでした。